

平成17年度(第104回)

# 兵庫県大学図書館協議会総会

平成17年7月26日(火)

当 番 館

甲 南 大 学

## 目 次

1. 総 会 次 第	1
2. 出 席 者 名 簿	3
3. 加 盟 館 名 簿	5
4. 兵庫県大学図書館協議会規約	7
5. 役員館・企画委員館名簿	8
6. 平成16年度事業報告	9
7. 新規加盟館について	11
8. 平成16年度決算報告	12
9. 平成17年度事業計画(案)	13
10. 平成17年度予算(案)	14
11. その他の協議事項	15
・加盟館名簿等のあり方について	(15)
・平成18年度総会当番館について	(15)
・平成18年度からの役員館・企画委員館の選出について	(16)
12. 承合事項	17
・図書館のプライバシーポリシーの策定・検討状況について	(17)
・図書館業務のアウトソーシングの進展状況について	(23)
13. 役員館年度別一覧表	27
14. 総会当番館回数一覧表	29

平成17年度（第104回）兵庫県大学図書館協議会総会

総 会 次 第

日 時： 平成17年7月26日（火） 13：30～16：30

場 所： 甲南大学

次 第：

1 開 会

2 当 番 館 挨 拶

3 会 長 挨 拶

4 議 長 選 出

5 報 告 事 項

（1）平成16年度事業報告について

（2）大学図書館関係活動報告について（資料配付）

国公立大学図書館協力委員会関係

国立大学図書館関係

公立大学図書館関係

私立大学図書館関係

私立短期大学図書館関係

（3）そ の 他

6 協 議 事 項

（1）新規加盟館等について

（2）平成16年度決算報告について

（3）平成16年度会計監査報告について

（4）平成17年度事業計画（案）について

（5）平成17年度予算（案）について

（6）加盟館名簿等のあり方について

（7）平成18年度総会当番館について

（8）平成18年度からの役員館・企画委員館の選出について

（9）そ の 他

7 承 合 事 項

（1）図書館のプライバシーポリシーの策定・検討状況について

（2）図書館業務のアウトソーシングの進展状況について

8 閉 会

第104回 兵庫県大学図書館協議会総会

出席者名簿

兵庫教育大学	学術情報チーム主査	篠原元子
海技大学校	図書室長	久保研一郎
神戸市外国語大学	事務長	牛原秀治
神戸市看護大学	図書館長	蓑原昇一
兵庫県立大学	課長	川脇康一
	課長補佐	龍神啓文
芦屋大学	司書	後藤藤文
英知大学	次長	古田富子
関西福祉大学	職員	細田金井
関西学院大学	運営課長	兄森美栄
近畿福祉大学	館長	森忠
甲子園大学	司書	新由美乃
甲南大学	図書館長	西田英一
	次長	永幡貴子
甲南女子大学	事務長補佐	吉井蔵孝
神戸海星女子学院大学	司書	五百蔵悦子
神戸学院大学	次長	岡田本直
神戸芸術工科大学	主任	宮部由紀枝
神戸国際大学	課長	阿福由紀子
神戸松蔭女子学院大学	事務課長	福水敬子
神戸女学院大学	課長	水平井陽子
神戸女子大学	職員	難波美知子
	事務長	大西敏子
神戸親和女子大学	課長	木口有理
神戸薬科大学	課長補佐	新高橋慶太郎
神戸山手大学・神戸山手短期大学	課長補佐	高若宮綾子
聖和大学	事務課長	若門泰典
	主任	今村智子
園田学園女子大学	館長	松橋しのぶ
	グループリーダー	
	職員	
宝塚造形芸術大学	次長	

姫路獨協大学

兵庫大 学

兵庫医 科 大 学

武庫川 女 子 大 学

流通科 学 大 学

神戸女 子 短 期 大 学

神戸常 盤 短 期 大 学

産業技 術 短 期 大 学

夙川学 院 短 期 大 学

頌栄短 期 大 学

東洋食 品 工 業 短 期 大 学

湊川短 期 大 学

神戸大 学

事務課 長

課長 補 佐

主任

課長

図書課 長

事務課 長

課長 補 佐

主任 司 書

主任

主任

主任

司 書

図書館 長

図書館 長

事務部 長

情報管理課 長

情報処 理 課 長

課長 補 佐

企画 係 長

海老原

梶浦

山本

松原

森本

槻本

原田

石川

藤井

石黒

石中

松山

虫須

須藤

故選

石井

山田

池川

石坂

茂子

美知

三行

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

子子

欠 席 大 学

大手前大学・大手前女子短期大学

関西国際大学

近畿大学豊岡短期大学

賢明女子学院短期大学

神戸学院女子短期大学

神戸文化短期大学

姫路日ノ本短期大学

出席大学

39大学

51名

欠席大学

7大学

# 兵庫県大学図書館協議会規約

## (名称)

第1条 この会は、兵庫県大学図書館協議会という。

## (会員)

第2条 この会は、兵庫県内の大学及び短期大学の図書館（以下「大学図書館」という。）をもって会員とし、その入・退会は総会にはかる。

## (目的)

第3条 この会は大学図書館の管理・運営に関して、連絡・協議・調査研究を行い、もって大学図書館の充実・発展を期することを目的とする。

## (事業)

第4条 この会は前条の目的を達成するため研究会・研修会等、必要な事業を行う。

## (役員)

第5条 この会に会長館、副会長館及び監事館をおく。

2 役員は総会において選出し、任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

3 会長館は会を代表し、会務を行ない、副会長館は会長館を補佐する。

## (総会)

第6条 総会は会長館が招集し、年1回開くこととする。ただし、必要あるときは臨時に総会を開くことができる。

2 総会の運営は、会場館の協力を得て、役員館が行なう。

## (企画委員会)

第7条 この会の目的及び事業を遂行するため、企画委員会をおく。

2 この委員会は、会長館、副会長館及び総会において選出された会員館をもって構成し、会長館がこれを招集する。

## (会計)

第8条 この会の経費は会費（年額 8,000円）その他をもってあて、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

## (監査)

第9条 監事館は、協議会の会計を監査する。

## (規約の変更)

第10条 この規約は、総会の承認を経て変更することができる。

## (雑則)

第11条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、総会が定める。

## 附 則

### (施行期日)

1 この規約は、昭和46年 5月24日から施行する。

### (旧会則の廃止)

2 兵庫県大学図書館協議会会則（昭和22年 7月19日制定）は、これを廃止する。

### (経過措置)

3 兵庫県大学図書館協議会会則によって認められた職員研修委員会は、この規約第6条により置かれたものとみなす。

## 附 則

この改正規約は、昭和56年 4月 1日から施行する。

### 附 則（一部改正）

この規約は、昭和59年 4月 1日から施行する。

### 附 則

この規約は、昭和63年 4月 1日から施行する。

## <申し合わせ>

1. 第5条の役員のうち副会長館は1館、監事館は1館とする。
2. 企画委員会の構成は、国公立大学2館、私立大学3館、短期大学1館とする。
3. 企画委員の任期は、3年を原則とする。

# 兵庫県大学図書館協議会

平成17年度役員館、企画委員館名簿  
(任期 平成15～17年度)

## 役員館

会長館 神戸大学

副会長館 関西学院大学 (会計担当)

監事館 武庫川女子大学

## 企画委員館

国公立大学 神戸大学

神戸市外国語大学

私立大学 関西学院大学

神戸芸術工科大学

園田学園女子大学

短期大学 神戸常盤短期大学

# 兵庫県大学図書館協議会 平成16年度事業報告

## 総会の開催（第103回）

日程：平成16年7月28日（水）  
当番館：神戸親和女子大学  
会場：神戸親和女子大学 4号館411教室  
参加者：38大学 53名

## 事業

（16年度研修担当館：関西学院大学、園田学園女子大学）

### 研究会

「アウトソーシングの現状と課題」

日程：平成16年12月3日（金）  
会場：園田学園女子大学30周年記念館  
参加者：38大学 58名  
報告：「大学図書館アウトソーシングの現状と動向」  
（丸善株式会社 伊藤博道氏）  
「大学図書館の委託事例報告 - 全面委託が始まった - 」  
（株式会社紀伊國屋書店 藤則幸男氏）  
「業務全般における派遣とパートの活用について状況報告」  
（神戸芸術工科大学図書館 篠山和義氏）  
「カウンター業務のアウトソーシングについて」  
（甲南大学図書館 永幡光生氏）  
「目録業務のアウトソーシングとその考え方」  
（関西学院大学図書館 今村太郎氏）

### 講演会

「大学図書館の経営と評価を考える」

日程：平成16年11月19日（金）  
会場：関西学院大学図書館ホール  
参加者：40大学 77名  
講演：「大学図書館経営の新境地を拓く」  
（慶應義塾大学文学部教授 高山正也氏）  
「図書館活動の活性化を - ライブラリーマネジメン  
ト・ゼミナールの試み」  
（国立女性教育会館客員研究員 尼川洋子氏）



## 後援行事（シンポジウム）

「災害と図書館」

日 程： 平成17年2月21日（月）

会 場： 新長田勤労市民センター

参加者： 本協議会からの参加者15名

主 催： 日本図書館研究会、神戸市市立図書館

## 会員名簿の作成

## ホームページの維持

研究会、講演会の要旨及び「地域市民への公開状況」公開など

## 役員会等の開催

### 役員会・企画委員会合同会議

日 時： 平成16年4月22日（木）15：30～16：30

会 場： 神戸大学自然科学系図書館

- 議 事：
- 1）平成15年度（第102回）総会について
  - 2）平成16年度（第103回）総会について
  - 3）平成15年度協議会事業報告(案)と決算報告(案)について
  - 4）平成16年度協議会事業計画(案)と予算(案)について
  - 5）平成17年度(第104回)総会当番館について

### 企画委員会（第1回）

日 時： 平成16年6月7日（月）15：00～16：00

会 場： 神戸親和女子大学 1号館第一会議室

- 議 事：
- 1）平成15年度（第102回）総会について
  - 2）平成16年度（第103回）総会について
  - 3）平成15年度協議会事業報告（案）と決算報告（案）について
  - 4）平成16年度協議会事業計画(案)と予算(案)について
  - 5）その他の総会協議事項案について
  - 6）その他の総会照合事項案について
  - 7）平成17年度（第104回）総会当番校について

## 協議事項（１）

### 新規加盟館について

（会長館提案）

#### < 提案内容 >

神戸市看護大学図書館の新規加盟を承認する。

#### < 提案理由 >

同図書館より本協議会会長宛、加盟依頼があった（平成17年5月20日付）。神戸市看護大学は本年3月末日まで本協議会加盟館であった神戸市看護大学短期大学の閉学を機に、新たに本協議会への参加を希望している。

同センターは本協議会の会員条件（規約第2条）を満たしていることから、本総会において新規加盟を承認したい。

兵庫県大学図書館協議会  
平成16年度決算(案)

会計担当館：関西学院大学図書館

収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	備考
前年度繰越金	1,072,386	1,072,386	
会費収入	368,000	368,000	8,000 × 46館
預金利子	1,000	11	
合計	1,441,386	1,440,397	

支出の部

項目	予算	決算	備考
事業費			
総会開催経費	100,000	100,000	神戸親和女子大学(当番校)
研修・研究会開催経費	200,000	60,000	研究会、講演会(2回開催)
特別費	100,000	100,000	講師(2名分)謝金 講師・報告者(2名分)交通費
加盟館名簿作成費	30,000	30,000	加盟館名簿作成消耗品費
ホームページ運営費	0	0	ホームページ運営経費
役員会運営経費	50,000	50,000	神戸大学(会長館)
予備費	961,386		
次年度繰越金		1,100,397	
合計	1,441,386	1,440,397	

会計監査の結果、帳簿・証拠書類等整備され、正確に執行されていることを確認しました。

平成17年5月16日

兵庫県大学図書館協議会  
武庫川女子大学附属図書館



兵庫県大学図書館協議会  
平成17年度事業計画(案)

平成17年度総会の開催(第104回)

日時：平成17年7月26日(火)  
当番館：甲南大学

事業

研修会等

研修会等担当館(17年度)：神戸大学  
神戸常盤短期大学

研究会

開催時期：平成17年9月22日(木)午後  
テーマ：資料・情報を読者へ - 書店から学ぶこと  
会場：神戸大学社会科学系図書館  
講師：湯浅俊彦氏(大阪市立大学非常勤講師・旭屋書店外商部)  
：福島 聡氏(ジュンク堂書店池袋本店副店長)  
：小澤利彦氏(紀伊國屋書店ネットビジネス部長)

講演会

開催時期：平成17年秋  
テーマ：図書館を巡る法制度(仮題)  
会場：神戸大学社会科学系図書館(予定)  
講師：黒澤節男氏(元九州大学教授)  
：水島 昇氏(水島法律事務所・神戸大学顧問弁護士)

施設見学

開催時期：平成17年9月26日(月)  
見学先：神戸国際大学情報センター

<参考>

目録システム地域講習会(NII地域講習会)  
会場：関西学院大学  
日程：平成17年9月7日(水)～9日(金)  
申込〆切：8月5日(金)

加盟館名簿作成

協議会ホームページの維持

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/AULH/>

役員会等の開催

役員会・企画委員会合同会議

日時：平成17年4月26日(火)  
会場：神戸大学自然科学系図書館

企画委員会

日時：平成17年5月18日(水)  
会場：甲南大学

その他

兵庫県大学図書館協議会  
平成17年度予算(案)

会計担当館：関西学院大学図書館

収入の部

(単位：円)

項目	平成17年度	平成16年度	増減	備考
前年度繰越金	1,100,397	1,072,386	+ 28,011	
会費収入	368,000	368,000	0	@8,000 × 46館
預金利子	1,000	1,000	0	
合計	1,469,397	1,441,386	+ 28,011	

支出の部

項目	平成17年度	平成16年度	増減	備考
事業費				
総会開催経費	100,000	100,000	0	当番館へ
研修・研究会開催経費	200,000	200,000	0	担当館へ会費収入の1/2
特別費	100,000	100,000	0	講師謝礼・旅費・報告書等
加盟館名簿作成費	30,000	30,000	0	名簿作成消耗品60部作成
役員会運営経費	50,000	50,000	0	会長館へ
予備費	989,397	961,386	+ 28,011	
合計	1,469,397	1,441,386	+ 28,011	

## 協議事項（６）

### 加盟館名簿等のあり方について

（企画委員会提案）

#### < 提案理由及び内容 >

個人情報保護法の施行に伴い、名簿類の作成・取扱に慎重な対応が求められている。本協議会においても、加盟館名簿の目的の明確化及びそれに伴う内容の見直し等を以下の方針に基づき、実施したい。

- １）加盟館名簿の目的  
協議会活動上及び加盟館間の業務連絡用とする。
- ２）加盟館名簿の内容  
現行の職員全員掲載から、業務責任者以上のみを掲載する館の名簿とする。
- ３）相互協力便覧（仮称）の作成  
加盟館間の相互協力活動に必要な情報は、名簿とは別冊の相互協力便覧（仮称）にまとめる。便覧に掲載する内容は、国公私協力委員会の「相互協力便覧」を基とする。
- ４）上記１ - ３）の方針に基づく新名簿等様式の細部は、企画委員会に一任を願う。  
企画委員会は、平成 17 年度中に改訂案をまとめ、加盟館にご意見を求める等を経て、平成 18 年度の名簿等は、新様式により作成する。

## 協議事項（７）

### 平成18年度(第105回)総会当番館について

（企画委員会提案）

#### < 提案理由 >

総会当番館は、およそ三宮を中心として、東西に分け、交互に開催してきている。今年度は、東地区として、甲南大学にお願いしているが、来年度は西地区から当番館を選出したい。

協議事項（８）

平成18年度からの役員館・企画委員館の選出について（企画委員会提案）

<提案理由>

平成14年度総会において、現役員館、企画委員館が選考されている。  
規約第5条第2項により、任期は3年とされており、今年度で任期が満了となる。ついで、平成18年度から平成20年度（3年間）の役員館及び企画委員館を選出する。

役員館（平成18～20年度）

会長館 \_\_\_\_\_

副会長館(1館) \_\_\_\_\_ (会計担当)

監事館(1館) \_\_\_\_\_ (会計監査)

企画委員館（平成18～20年度）

国公立大学(2館) \_\_\_\_\_

私立大学(3館) \_\_\_\_\_

短期大学(1館) \_\_\_\_\_

<申し合わせ>

1. 第5条の役員のうち副会長館は1館、監事館は1館とする。
2. 企画委員会の構成は、国公立大学2館、私立大学3館、短期大学1館とする。
3. 企画委員の任期は、3年を原則とする。

## 承合事項（１）

### 図書館のプライバシー・ポリシーの策定・検討状況について（企画委員会提案）

#### （提案理由）

平成 17 年 4 月に施行された個人情報保護法に対応し、官民を問わずプライバシー・ポリシー（個人情報保護方針）を策定、公表する機関が増えている。大学図書館においても、HP 上でプライバシー・ポリシーを公開する館が出始めている。

については、加盟館におけるプライバシー・ポリシーの策定・検討状況を調査し、各館の運営上の参考としたい。

#### （調査内容）

1）策定済の図書館においては、プライバシー・ポリシー全文をお送りください。

また、公表手段（館内掲示・HP 掲載・利用案内に明示等）を示してください。

2）検討中の図書館においては、検討中の内容骨子、公表予定等を示してください。

#### （回答様式）

適宜の様式で可とするが、電子的データで送付が望ましい。

#### （各館からの回答）

##### 兵庫教育大学

特に検討等行っていない

##### 神戸大学

神戸大学では、大学として個人情報保護法への対応が実施されており、すでに大学ホームページにおいて、個人情報の開示制度についての案内 個人情報ファイルの一覧 個人情報管理の指針および規則 個人情報の開示に関する規則 など必要な情報が公表されている。

図書館としては、上記 個人情報ファイル一覧の中に「図書館利用者ファイル」が掲載されており、利用目的、記録項目、記録範囲、収集方法が明示されていること。開示等の手続きは大学の窓口として一本化されていることから、個人情報保護法への対応は完了していると認識している。

ただし利用者に対して、より詳細な利用目的の明示が必要ではないかとも考えられるので、補足的な位置づけとして、次のような内容について、館内への掲示、並びにホームページでの公表を検討している。

#### 利用者の方々の個人情報の取り扱いについて

附属図書館では、利用者の方々の個人情報の取り扱いについて、大学が定める「神戸大学個人情報管理規則」に従って適正に行っています。

<http://www.kobe-u.ac.jp/info/personal/index.htm>

附属図書館における、個人情報の具体的な利用目的は次のとおりです。

- 1．資料を貸出される場合、資料の情報と共に貸出者本人の情報を記録するために使用します。
- 2．貸出資料を延滞された場合、ご本人に資料返却の督促をするために使用します。

督促は図書館内への掲示、もしくは郵送により行います。なお掲示の場合は、所属と氏名のみを使用します。



3. 予約された資料が利用可能になった場合、予約者ご本人への連絡のために使用します。
4. 文献複写、現物貸借を依頼された場合、相手館に対し依頼者本人の所属、氏名を通知するために使用します。
5. 文献複写、現物貸借を依頼された場合、資料が到着した時の本人への連絡に使用します。
6. その他、やむをえず緊急に本人に連絡する必要がある場合に使用します。

なお、各種申請書類への利用目的を記載する等の措置は、年度当初に完了済みである。

## 神戸市外国語大学

回答： 検討中

図書館のプライバシー・ポリシーを策定するかどうかは未定だが、図書館を含む大学全体のプライバシー・ポリシーについては、独立行政法人化作業の中で、学内諸規程の見直しとともに新たに策定することを検討中である。

また、大学全体のプライバシー・ポリシーに先駆けて、大学HPのプライバシー・ポリシーについては、現在審議中である。学内での承認後、大学HPに掲載予定である。

(検討中の神戸市外国語大学HPのプライバシー・ポリシー内容骨子)

### プライバシーポリシーについて(案)

神戸市外国語大学(以下、「本学」という。)では、本学Webサイト(<http://www.kobe-cufs.ac.jp>)で提供するサービス(E-mailによるお問い合わせの受付など)により、個人を特定できる情報が集積されることがあります。集積された情報は、利用目的の範囲内で適正な取り扱いを行います。

#### 収集の制限

本学が個人情報を収集するときは、個人情報を取り扱う事務の目的を明確にし、その目的以外には使用いたしません。

#### 適正な管理

保有する必要がなくなった情報を、确实かつ速やかに廃棄又は消去します。

#### 目的外利用・提供の制限

本学が収集した個人情報は、原則として、収集した目的以外の目的のために使用したりいたしません。

#### アクセスログについて

本学では、本学Webサイトのアクセスログの記録を行いますが、アクセス数などの統計分析以外の用途には使用いたしません。利用者のアクセス動向を把握し、本学Webサイト運営の参考のために使用いたします。

#### その他

本学では、以上のプライバシーポリシーを改定することがあります。変更した場合には、本学Webサイトでお知らせいたします。プライバシーポリシーに関する取り組みとして、定期的な監査を行うなど、定期的に見直し、継続的な改善を実施いたします。

#### お問い合わせ

本学のプライバシーポリシーについてお問い合わせは下記にお願いします。

神戸市外国語大学 電子メール : [info@office.kobe-cufs.ac.jp](mailto:info@office.kobe-cufs.ac.jp)

## 関西学院大学

個人情報の取扱いについて、本学のHPで公開している文書を添付します。

現在は、What's New でお知らせしているが、将来的にはフッターに置き、常時見ることができるようにすることを考えています。

### 個人情報の取扱いについて

関西学院大学図書館では各種の図書館サービスの提供、図書館の円滑な運営を行うため、利用者の皆様の個人情報を利用してまいります。当館では、個人情報の取扱いにつきまして、「学校法人関西学院における個人情報保護に関する基本方針(プライバシーポリシー)」に基づくとともに、個人情報保護のための学内ルールを定めた「個人情報管理規程」および「ガイドライン」を遵守し、個人情報の漏洩・改ざん・消失を防止するために安全管理に努め、必要な措置を講じています。

#### 1. 個人情報の定義

個人情報とは、当館を利用する皆様に関する情報であり、当館の業務に関して業務上取得したもののうち、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他により、特定の個人を識別することができるものをいいます。

#### 2. 個人情報の利用目的

当館における利用者の皆様の個人情報は、教育・研究および学習支援に必要な各種図書館サービスの提供、利用者の皆様への連絡や図書館運営の管理や改善を目的として、利用します。以上の利用目的の範囲を超えて利用者の皆様の個人情報を利用することはありません。なお、利用目的を変更する場合には、その都度、変更後の利用目的を公表します。

#### 3. 個人情報の取得方法

当館では業務の目的を達成するために必要な限度内において、次の方法で適法かつ公正に利用者の皆様の個人情報を取得しています。

大学内の他部署から取得する方法。

利用者の皆様からの各種申請書、アンケート等の提出物から取得する方法。

業務上で取得する方法。

#### 4. 個人情報の本学以外の第三者への提供

当館が個人情報を本学以外の第三者に提供するのは次の場合に限られます。ただし、法令の定めに基づく場合や、本人の事前の同意がある場合は除きます。

利用者本人への各種連絡にあたって、利用者本人に連絡がとれないときに保証人へ連絡する場合。

図書資料の複写、取り寄せや紹介状の発行等、図書館相互利用サービスの依頼先館に対して、入手を希望する図書資料名とともに氏名、所属、学籍番号等を通知する場合。

#### 5. 図書館活動報告等での個人情報の公表

図書館活動の年次報告等の中で、統計的な資料を公表する場合がありますが、特に事前の同意のある場合を除き、個人情報は公表しません。

#### 6. 問い合わせ窓口

当館の個人情報の取扱いについては、大学図書館運営課(TEL 0798-54-6121)までお問い合わせください。

2005年4月1日 関西学院大学図書館

## 甲子園大学

個人情報保護法施行に伴う、図書館の対応について（案）

図書館では下記のように対応させていただきます。

貸出中の資料の 問い合わせ	本人以外にはお知らせしません。
延滞に対する督促	(提示) 学内に学部・学年・氏名を掲示します。 (文書) 自宅もしくは保護者宅に督促状を本人に送付します。 その際には貸出資料の情報（資料名を含む）が記載されます。 督促無視の場合は、保護者宛に文書（資料名を除く）を送付する場合もあります。 (電話) 自宅もしくは保護者宅に電話で本人に連絡します。 その際に貸出資料数・返却期限などの資料情報（資料名は除く）を 伝言する場合があります。
予約資料の連絡	館内に学部・学籍番号・氏名を掲示します。
外部から取寄せた資料 （文献コピー等）の連絡	依頼書に記載された電話番号もしくはメールアドレスに連絡を します。

## 神戸学院大学

大学全体のプライバシー・ポリシーを参考に現在検討中（先行大学の事例を参考にしたい）である。なお、図書館HPに図書館業務運用上必要な事項を“お知らせ”として発行している。

## 神戸親和女子大学

現在検討中です。

（検討状況）

### 【 学園・大学 】

大学は平成16年文部科学省告示以降、文部科学省・厚生労働省・日本私立大学協会・(社)私学経営研究会等の配布資料他、雑誌等出版物資料を各課(図書館を含む)・各人に配布、各課が取扱う個人情報の洗出しを行いました。

親和学園は「個人情報保護規定(仮称)」「個人情報管理に関する取扱い規程(仮称)」制定に向けて検討を重ね、7月理事会承認を予定しています。大学は同時進行で「Q&A(仮称)」を作成し、実際に取扱う情報について、学生への掲示を用意しています。「プライバシー・ポリシー」策定と公表手段については、まだ明らかにはなっていません。

### 【 図書館 】

図書館では、理事会・教授会・職員会・各種関係委員会の経過・結果を待って、独自のものを策定する必要があると判断した場合には、関係委員会と調整の上、立案し、図書委員会の承認を得て公表する予定でいます。

(現在の対応)

図書館は利用者の個人情報をしてできるだけ持たないようにしてきました。

#### 《 紙媒体 》

図書館独自の、紙媒体で残る「相互利用」「コピー」「購入希望」「視聴覚資料使用」「附属資料貸出」各申込書は、保存基準を明確にしてシュレッダーによる廃棄に統一しました。

「一般公開利用申込書」は「ここで知り得た個人情報は、ご本人の特定と必要な場合のご本人への連絡以外の目的には一切利用いたしません」の一文を明記して厳守、鍵のかかる書類棚で保存しています。

#### 《 掲示・連絡 》

掲示板への掲示物については、昨年度まで「学籍番号」と「氏名」を公表していましたが、現在は中止しており、今後は全体の方針に従います。

「予約図書」と「相互利用」の連絡は、申込受け時点で館内のホワイトボードに「学籍番号」と「氏名」を書き出す旨、本人に伝え了承を得ています。また、特に本人が希望する時のみ、ケイタイ番号を聞いて個人への電話連絡をしています。

延滞図書の督促は、本人に電話または本人宛に封書を送付して連絡します。電話に本人以外が出られた場合は「図書館に来館あるいは連絡」の伝言をお願いして、ご家族でも「書名」や「延滞していること」を明かすことはありません。

### 神戸山手大学・神戸山手短期大学

本学園の「個人情報保護に関する規則」に則り、図書館におけるデータの取り扱いについて確認をしましたが、まだ、内規作成には至っていません。したがって、「プライバシー・ポリシー」の公開は未定です。

図書館で確認した事柄は以下の通りです。

1. 利用者の個人情報は、資料の提供と事務連絡に利用する。
2. 学生の呼び出しは、基本的に学籍番号による掲示とするが、希望すれば電話や e-mail での連絡に応じる。

この趣旨の一文を各種申込用紙に追加しました。カウンターでのやりとりの際には、口頭においても本人の承諾を得るようにしています。

3. 利用期限の切れた個人情報は、延滞者を除きすみやかに削除する。

以上

### 園田学園女子大学

個人情報の取扱い・プライバシー保護の重要性を深く認識しておりますが、図書館のプライバシー・ポリシーに関する内容骨子・公表予定につきましては現時のところ未定です。

今後、本学図書館においても検討していかなければならないと考えております。

### 武庫川女子大学

現在、学校法人武庫川学院の個人情報保護方針に基づいて、図書館内で 個人情報の収集  
個人情報の管理・保管 個人情報の利用などについて、鋭意検討中です。

### 神戸女子短期大学

現在未定。

本学園の提示している個人情報の保護に関する規程(案)に基づき検討中。

## 夙川学院短期大学

### 本学の個人情報保護方針

現代におけるコンピュータの普及は、高度に情報化された社会を実現しただけではなく、大量の情報が瞬時に伝達・処理される危険をも生み出しました。特に、年々膨大な個人情報が蓄積される本学のような教育機関においては、その適切な利用と厳格な保護が最重要の課題となっています。このことを踏まえ本学は、コンプライアンス・プログラム（内部管理体制）を整え、全教職員の個人情報保護についての意識改革を図ります。

#### 1. 基本理念

本学は「個人情報の保護に関する法律」、および関連法令の遵守を全教職員に周知徹底します。

#### 2. 個人情報の収集・利用目的

本学が質の高い教育サービスを提供するために必要な範囲内で、利用目的を特定したうえで、個人情報を収集し、利用します。

#### 3. 安全管理措置

個人情報に関するリスク（不正アクセス、紛失、破壊、改ざん、および漏洩等）を認識し、これらを防止するための必要かつ適切な安全管理措置を講じます。外部委託先に対しても、必要適切な監督を行います。また、本人の同意がある場合または法令の定めるところにより開示を求められた場合を除き、第三者に対しデータを提供することは致しません。

#### 4. 開示・訂正・削除等

本学に対し「個人保有データ」の開示・訂正・削除等の請求があった場合は、本人であることを確認したうえで、合理的な範囲内で開示いたします。

#### 5. 見直し・改善

個人情報保護のためのコンプライアンス・プログラムを整備するとともに、継続的に見直し、その改善を図ります。

2005年4月1日

夙川学院短期大学学長 吉岡 濟

## 頌栄短期大学

「頌栄短期大学図書館一般利用の手引き」を初めて利用される方に渡します。

## 姫路日ノ本短期大学

本学も現在、細部にわたり個人情報保護について検討を行っておりますが、まだ外部にお知らせできる状況ではありません。

## 承合事項（２）

### 図書館業務のアウトソーシングの進展状況について

（企画委員会提案）

#### （提案理由）

本件は、昨年度の総会承合事項で調査したものであるが、アウトソーシングの現状について有効な情報交換となった。また、昨年度の園田学園女子大学で開催した研究会「アウトソーシングの現状と課題」においても、継続的に調査し、その問題点等について情報交換する必要性が確認された。

このため、昨年度に引き続いて、業務のアウトソーシングの進展状況を調査し、各館の運営上の参考としたい。

#### （調査内容）

外部委託業務の種類、内容、効果、課題

ただし、昨年度回答以降に追加、変更があったもののみとする。

#### （回答様式）

別紙様式 （H16と同じ様式とする）

承合事項2.「図書館業務のアウトソーシングについて」集計結果

大学名	開始年度	業務の種類	業務内容・派遣人員等
兵庫教育大学	H17	閲覧・ILL	貸出返却等の閲覧業務、簡単な参考調査、ILL業務の要員として、派遣職員1名を雇用している
神戸大学	H17	ILL	社会科学系図書館のILLは文献複写業務のうち、複写作業を外部委託している。 (1件当たり単価契約)
神戸市外国語大学	H17	カウンター業務等	図書館カウンターにあつては閲覧業務をし、それ以外の時間帯は雑誌・紀要等の配架及び製本や図書の装備補助等を本館嘱託職員と各1名による交替勤務により行う。
兵庫県立大学(神戸学園都市学術情報館)	H14	図書装備	バーコードラベルの貼付及びタブレットの挿入。3人～5人。ただし平成16年度で終了。
近畿福祉大学	H12	閲覧	本学学生アルバイトで、開館時対応。2時間2名のシフトで10名。(貸出、返却、書架整理、館内清掃、検索用パソコンサポート)
	H13	整理(受入・目録)	業者から、装備(外フレーム・背ハル・返却期限票)済の図書・ビデオCAT登録をしたデータをFDで納品。
	<問題点・課題> 人員不足のため、受入・登録は、早急に必要なもの以外すべて、上記で発注しているが、納品までに平均約2か月かかる。		
甲南大学	H10	閲覧	カウンター業務;夜間3名(平日 18:00～21:00、土曜日 13:00～18:00)。2001年より1名、2002年より2名、2004年3名(平日 9:00～17:00、土曜日 9:00～13:00)
	H14	目録	2002年より和書整理1名、2004年より和書整理2名、洋書整理2名
	H16	逐刊	2004年より逐次刊行物整理、製本補助1名
	H16	レファレンス・相互利用	2004年より1名
	H16	サイバーライブラリ カウンター業務	2004年カウンター業務全般を業者委託化
	<問題点・課題> 安易なアウトソーシングへの切り替えは、図書館業務の空洞化に繋がる。「図書館が大学の教育・研究にどのような役割を果たしているか」が、大学教育改革が問われている中での課題は大きいものがある。それ故に厳しい財政状況の背景と専門化・高度化していく学術情報要求への動きについてはこれまでに図書館現場での奮闘が要求されていると思われる。学外の力と学内の力が政策コントロールされなければならないと考える。従ってアウトソーシングと並行して、図書館業務全体を把握した専門知識を有する図書館職員の育成が必須の課題となる。		
甲南女子大学	H6	閲覧	カウンター業務全般、貸出・返却、延滞図書の督促、図書の配架(新着・返却)、新聞・雑誌の配架、開館延長の貸出・返却
	H13	目録	目録業務全般
	H15	受入	図書・雑誌の発注・受入業務全般
	H15	相互利用、ILL	相互利用業務全般、文献複写サービス全般
<問題点・課題> 大学の行事(オープンキャンパス等)あるいは図書館の行事(ライブラリーツアー等)は、専任職員で対応している。現在、図書館職員の半数が派遣職員であるが、今後派遣職員が増えた場合、行事の際の対応について検討しなければならない。			

承合事項2.「図書館業務のアウトソーシングについて」集計結果

大学名	開始年度	業務の種類	業務内容・派遣人員等
神戸海星女子学院大学	H16 10月～	カウンター業務	閲覧業務(貸出・返却・図書配架)、遡及分の図書の追加入力。2005年度4月から閉館時間19時までとなったため、14時30分以降は必ず1名派遣の方に閉館時間まで勤務をお願いしている。
	H10	カウンター及びレファレンス業務	人材派遣職員 3名 図書の貸出返却業務、雑誌の整備、図書・雑誌の配架作業
神戸学院大学	H15	整理業務	人材派遣職員 5名 図書・雑誌(和・洋バックナンバー)の目録入力(受入・検収・精査・複本重複調査・除籍等) 図書・雑誌(バックナンバー)の装備業務 館内(蔵書)点検
	H16	雑誌受入業務	人材派遣職員 1名 雑誌(寄贈誌含む)受入
	H16	図書館情報システム保守業務	人材派遣職員 1名 ホームページ管理、利用者登録、図書館データベース管理
	H16	業務全般	相互利用・目録・紀要1名追加
神戸芸術工科大学	H17	業務全般	受入・会計1名追加
	H9	閲覧	閲覧業務全般(時間外開館時の閲覧業務も分担)1997年度1人、1998年度2人、1999-2000年度1人、2001年度2人、2002-2003年度3人、2004年度5人、2005年度6人
神戸学院大学	H10～H12	遡及	1998-2000年度1人
	H14	受入	1人(時間外開館時の閲覧業務も分担)
	H15	目録	1人(時間外開館時の閲覧業務も分担)
神戸山手大学 神戸山手短期大学	H16	業務全般	カウンター補助と、それぞれの分担業務 = 雑誌担当1名、紀要担当1名
	<問題点・課題> 本学は業務委託ではなく、派遣で対応しています。		
園田学園女子大学	H17	目録	平成18年度設置予定。人間看護学科図書受入・整理(書誌データ整理、所蔵登録他)、資料装備(請求ラベル作成、磁気入れ・地印)アウトソーシングする予定。
	H17	時間外開館	業務委託。 2名。月～金の18:00から21:00まで。(貸出、返却、書架整理、机上整理、戸締り)
兵庫大学	<問題点・課題> 危機管理に不安がある。		



承合事項2.「図書館業務のアウトソーシングについて」集計結果

大学名	開始年度	業務の種類	業務内容・派遣人員等
兵庫医科大学	H13	貸出・返却	平日17:00～21:00と第1,3,5土曜日12:30～16:30 1名
	H17	カウンター受付	学生及び教職員への時間外利用(17:00～21:00)のカウンター受付については、シルバー人材派遣2名による交替勤務(週2～3日勤務)。委託内容は、図書資料の貸出・返却、文献複写の受付・引渡し等のカウンター業務、コピー・AV・PC機器の電源管理、巡回および、閉館業務。
	<p>&lt;問題点・課題&gt;                      大学院の夜間コース開講に伴う図書館の開館時間の延長問題や病院機能評価に係る24時間開館等が求められており、これに対応できる入退館システム、貸出システム、総合管理システム等の設備を更新し、利用サービスの自動化や防犯システムの充実・強化を図る。</p>		
	H12	閲覧	夜間(17:00～21:00)と土曜日の閲覧業務 1名
	H13	閲覧・目録	夜間(17:00～21:00)と土曜日の閲覧業務 1名、目録業務 1名
	H14	閲覧・目録	夜間(17:00～21:00)と土曜日の閲覧業務 1名、目録業務 1名
	H15	目録	目録業務 1名
姫路獨協大学	H16	閲覧・目録	夜間(17:00～21:00)と土曜日の閲覧業務 2名、目録業務 2名
	H17	閲覧・目録	夜間(17:00～21:00)と土曜日の閲覧業務 2名、目録・閲覧等業務 4名
	<p>&lt;問題点・課題&gt;                      派遣スタッフの教育や指導に、また、目録の最終チェック等に専任の労力が必要であるが、派遣スタッフの増加により、専任の定員が削減される。派遣スタッフの技術が向上した頃に転職されることが多い。実際の業務の内容が、契約の範囲内であるかどうかについて派遣スタッフとズレが生じる場合がある。</p>		
	H15	目録・装備	平成15年後期より、業務請負による業者委託を開始した。目録・装備業務を業者の作業場にて行い、完成品を納入させ、利用に供している。
	H11	閲覧	平成11年度より、中央図書館において派遣要員2名で夜間開館(20:00)を開始した。(従来は、専任職員で18:30まで開館)平成14年後期からは薬学分館においても派遣要員1名で実施している。業務としてはカウンター業務(貸出・返却、文献複写、情報検索など)が中心である。
武庫川女子大学	H16	閲覧	平成16年度からは、中央図書館において、請負業務による業務委託を開始し、10名の委託職員でカウンター業務(メインカウンター、AVフロアカウンター、保存書庫管理)と関連する事務室内業務も合わせて従事させている。
	<p>&lt;問題点・課題&gt;                      目録・装備業務のアウトソーシングにより 図書の納期 至急の場合の優先処理 発注処理時の備消判断などの課題がある。</p>		